

週間漁海況情報—第43号

平成23年10月24日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

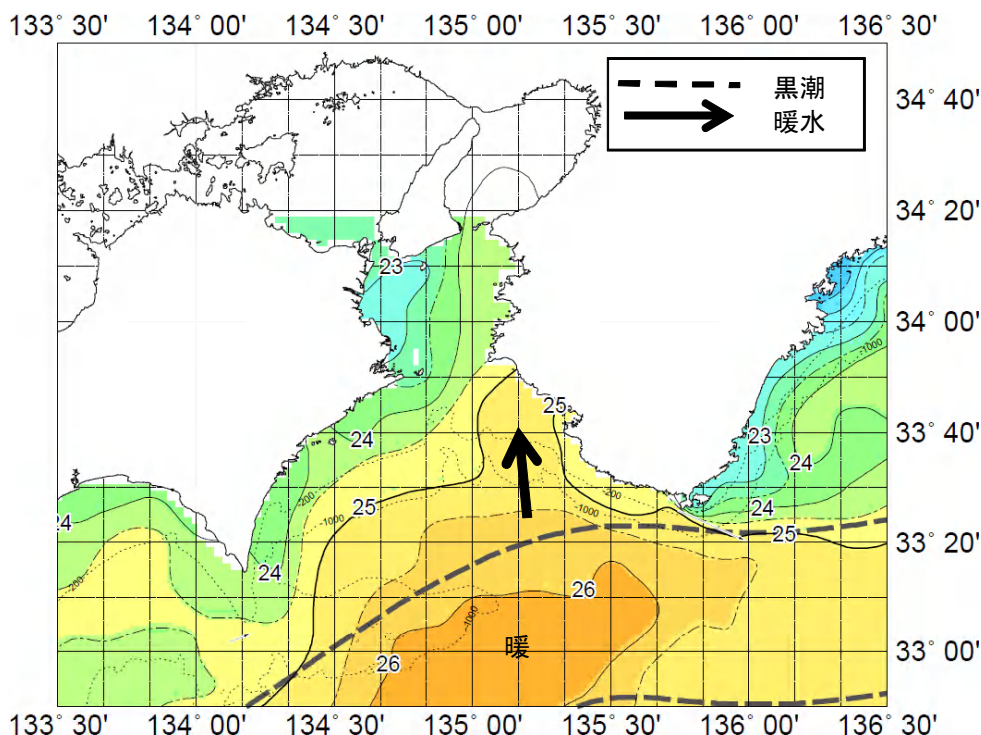
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.10.24）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬でかなり離岸、足摺岬沖でやや離岸している。

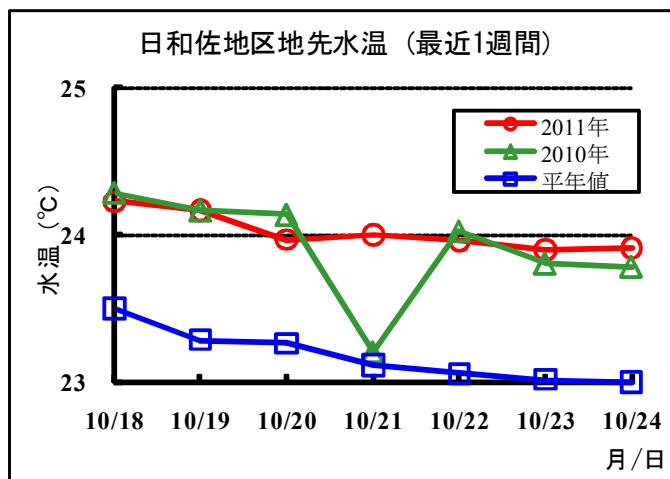
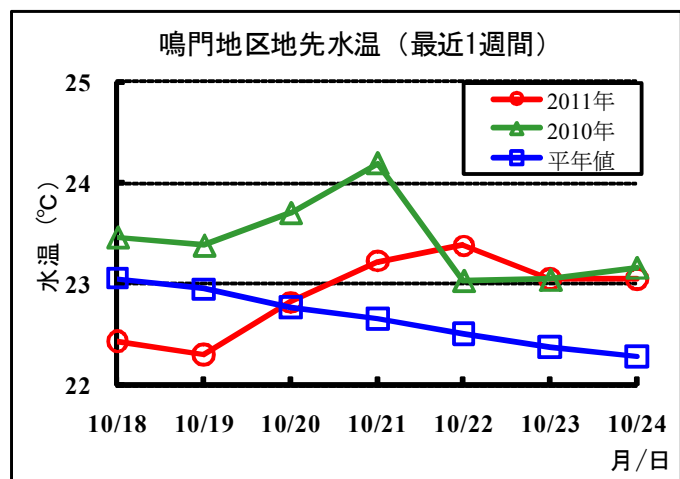
黒潮本流の表面水温は、25～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で22～23℃台、紀伊水道で22～24℃台、海部沿岸で23～25℃台である。

紀伊水道外域では和歌山県沿岸に黒潮系暖水が流入している。また、海部沿岸は、25℃以下の内海系水に広く覆われている。

漁業調査船「とくしま」が10月24日に行った海部沿岸海区の調査では、海部沿岸の潮流は停滞傾向にあった。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「やや高め」の22.3～23.4℃、日和佐地区で「やや高め」の23.9～24.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の23.3～24.7℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にサバフグが0.3トン（1日1隻当たり24kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で大主体にカワハギが0.3トン（同4kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でカマス類が0.4トン（同10kg）、中主体にゴマサバが0.4トン（同11kg）、小主体にタチウオが1.4トン（同39kg）、マアジが0.6トン（同51kg）、マルソウダが0.8トン（同18kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にサバフグが0.7トン（同67kg）、小主体にタチウオが0.4トン（同11kg）、紀伊水道で中・小主体にサワラが0.2トン（同24kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが46.5トン（同375kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 10月17日～10月23日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	11	260	24	大主体
建網		カワハギ	77	270	4	大主体
小型定置網		カマス類	38	382	10	
		ゴマサバ	36	413	11	中主体
		タチウオ	37	1,444	39	小主体
		マアジ	11	556	51	
		マルソウダ	46	841	18	
釣り		海部沿岸	サバフグ	10	672	67
	タチウオ		34	368	11	小主体
	紀伊水道	サワラ	9	220	24	中・小主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	124	46,500	375	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の22～23℃台、日和佐地先は「やや高め」の23℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年10月18～24日の海部沿岸では、延縄で小主体にタチウオが0.3トン、小型定置網でアオリイカが0.2トン、アカカマスが2.0トン、小主体にマアジが0.4トン、小主体にマルアジが2.0トン、マルソウダが0.7トン、ヤマトカマスが0.3トン、釣りでアオリイカが中主体に0.4トン、特大主体にカツオが1.9トン、小主体にタチウオが0.5トン、中主体にヨコワが1.5トン水揚げされた。

紀伊水道では、釣りで中主体にサワラが0.6トン、パッチ網でシラスが174トン水揚げされていた。

他県情報：宮崎県（10月13日～10月19日）のパッチ網でシラス3.5トン（同0.7トン）が水揚げされた。